

問1 1989年には東欧諸国で民主化運動が激化し、分断の象徴であったベルリンの壁が崩壊するなど、社会主義体制が大きく揺らぎました。こうした激動の国際情勢の中で開催された「マルタ会談」が世界史において果たした役割について、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。
2. アメリカとソ連が共同でベトナム戦争に介入し、社会主義勢力を抑え込むことを合意した。
3. 核兵器の完全廃棄を決定し、国際連合の管理下で全ての大量破壊兵器を撤去することを宣言した。
4. 第二次世界大戦後のドイツを、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の4カ国で分割統治することを決定した。

問2 日本と近隣諸国との関係および冷戦終結期の国際情勢について述べた文として、1965年の条約締結と1990年の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。
2. 日中共同声明によって中国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。
3. 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。
4. サンフランシスコ平和条約によって主権を回復し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。

問3 日本の輸送手段の変遷に関する統計において、鉄道による貨物輸送量は1970年頃にピークを迎えた後、減少に転じています。この時期の社会背景と、減少の理由として最も適切な説明はどれか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

1. 高度経済成長を経て、高速道路網の整備が進み、トラックによる自動車輸送への転換が進んだため。
2. 1970年代の石油危機により、国内の工業生産が完全に停止し、運ぶべき物資がなくなったため。
3. 鉄道の電化が遅れたことにより、蒸気機関車では大量の貨物を運ぶことが不可能になったため。
4. 環境保護の観点から、すべての貨物輸送を航空機による輸送に切り替える政策がとられたため。

問4 明治時代初期、岩倉具視を全権大使として欧米諸国へ派遣された「岩倉使節団」の主な目的として、当時の時代背景をふまえて説明したものと最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 仏教を日本へ正式に伝えることで、天皇を中心とした国家体制を宗教的に支えること
2. 兵庫の港を大規模に修築し、宋との貿易を拡大させて平氏政権の経済基盤を強化すること
3. 欧米の先進的な制度や文化を直接調査し、不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うこと
4. 新幹線や高速道路などの交通網を全国に整備し、国民所得を倍増させる計画を立案すること

問5 1989年のマルタ会談による冷戦終結後の国際社会の動向について、正しい説明はどれですか。（2026年 茨城公立入試 類似）

1. 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。
2. アメリカとソ連がドイツを分断して統治することを決定し、ベルリンの壁が建設されたことで冷戦がより深刻化した。
3. アメリカ、イギリス、ソ連の首脳が集まり、敗色が濃厚となった日本に対して無条件降伏を求める宣言を採択した。
4. 資本主義陣営の結束を強めるため、アメリカを中心に北大西洋条約機構（NATO）が結成され、経済援助であるマーシャル・プランが開始された。

問6 伝統文化の継承と創造に関する取り組みとして、「琉球文化のルネサンス」と呼ばれる活動があります。この活動が、単なる伝統の「保存」にとどまらず、現代において新しい価値を生み出すことを目指している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 伝統文化をタンブラーやエプロンなどの現代の生活用品に取り入れ、人々の暮らしに結びつけることで文化を再生させるため
2. 伝統的な技術を外部に一切漏らさず、古来の形式を厳格に守り続けることこそが文化の衰退を防ぐ唯一の手段であるため
3. 伝統文化を現代の流行とは切り離し、限られた専門家や後継者のみが扱える特別な「芸術」として孤立させるため
4. 伝統的なデザインをすべて現代風に刷新し、過去の歴史や背景とは無関係な新しい産業として完全に作り変えるため

問7 沖縄県にある「平和の礎」には、2022年現在で合計24万人を超える人々の名前が刻まれています。この記念碑の運用実態について、統計的な背景から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

1. 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。
2. 建設当初から刻銘される人数は固定されており、新たな名前が追加されることはない。
3. 氏名が判明していない犠牲者が多いため、現在は氏名ではなく出身地別の人数のみを刻んでいる。
4. 連合国側の犠牲者については、平和の礎とは別の施設に分けて名前が刻まれている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。	1989年は東欧の社会主義諸国で民主化が進み、11月にはベルリンの壁が崩壊しました。この直後の12月に開催されたマルタ会談において、米ソ首脳が冷戦の終わりを正式に認めたことで、1940年代後半から続いてきた「冷戦」という特殊な国際秩序が消滅しました。選択肢にあるベトナム戦争は1970年代に終結しており、ドイツの分割統治は1945年のヤルタ会談やポツダム会談に関連する出来事です。
問2	答え 1 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。	日本は1965年に日韓基本条約を締結し、大韓民国との間で国交を正常化させました。世界情勢に目を向けると、1980年代後半からの冷戦終結の流れの中で、1990年にドイツ統一が実現しました。イギリスから中国への香港返還が行われたのは、冷戦後の1997年のことです。
問3	答え 1 高度経済成長を経て、高速道路網の整備が進み、トラックによる自動車輸送への転換が進んだため。	1970年頃は高度経済成長の終盤にあたり、産業構造の変化とともに交通網の整備が進みました。それまでは鉄道が貨物輸送の主役でしたが、ドア・ツー・ドアの配送が可能なトラック輸送（自動車輸送）や、大量輸送に適した船舶輸送にその座を譲ることとなり、統計上の数値も減少に転じました。
問4	答え 3 欧米の先進的な制度や文化を直接調査し、不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うこと	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は急務の課題でした。岩倉使節団は、条約改正のための予備交渉と、日本の近代化に必要な西洋の優れた政治制度、教育、産業などを視察・吸収することを目的として派遣されました。他の選択肢は、それぞれ飛鳥時代、平安時代末期、昭和時代の事象に関するものです。
問5	答え 1 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。	冷戦の終結により米ソ二大国による核戦争の脅威は後退しましたが、それまで抑えられていた民族紛争や宗教対立、地域紛争が表面化するようになりました。その象徴的な出来事が、マルタ会談の翌年に発生した湾岸戦争です。他の選択肢にあるベルリンの壁の建設（1961年）やNATOの結成（1949年）、ポツダム宣言（1945年）は、いずれも冷戦終結以前の出来事です。
問6	答え 1 伝統文化をタンブラーやエプロンなどの現代の生活用品に取り入れ、人々の暮らしに結びつけることで文化を再生させるため	伝統文化の継承には、単に古いものをそのまま残す「保存」だけでなく、現代のニーズや生活スタイルに合わせて新しい価値を付け加える「創造」の視点が重要です。琉球文化のルネサンスでは、紅型などの伝統的な意匠を現代の生活用品に活用することで、文化が日常に溶け込み、持続可能な形で次世代へ受け継がれることを目的としています。
問7	答え 1 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。	2022年時点の統計によれば、刻銘者の内訳は沖縄県出身者が約15万人で最も大きな割合を占めますが、日本国内の他県出身者、さらにはアメリカ、イギリス、韓国、北朝鮮、台湾といった海外出身者の名前も数万人規模で含まれています。また、調査によって新たに身元が判明した犠牲者の名前は現在も追加で刻み続けられており、刻銘者数は年々増加しています。